



CALEFAX Reed Quintet 2008.12.6 sat

カレファックス・リード 五重奏団



オランダの室内楽シーンを代表する、カレファックス・リード五重奏団が初来日します。本公演は彼らのレパートリーの中から、同時代を生きる作曲家の作品でプログラムされました。地元オランダからはポピュラー系からも幅広く支持されるヤーコブ・テル・フェルトハウス。ナンカロウの壮絶な自動ピアノ作品はメンバー自身による編曲で。日本人作曲家では彼らがかつて委嘱した山本裕之作品の他に久木山直の新作が披露されます。リード・サウンドの新境地をお楽しみください。

会場 ■ 東京オペラシティ・リサイタルホール
(京王新線初台下車徒歩5分)

日時 ■ 2008年12月6日(土) 開場 | 17:30 開演 | 18:00

入場料 ■ 一般 ¥3,000 | 学生 ¥2,000

一般前売 ¥2,500 | 学生前売 ¥1,500

Glovill 会員一般 ¥2,000 | 学生 ¥1,000

チケット取り扱い ■ 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999
グローヴィル 03-3568-3260 / glovill@glovill.jp

主催: NPO Glovill 協賛: コスモ石油株式会社

助成: オランダ王国大使館 / 財団法人朝日新聞文化財団 /

平成20年度港区NPO活動助成事業 / The Music Centre of the Netherlands

後援: NEC

©未就学児の同伴・ご入場はご遠慮ください。

PROGRAM

サンダー・ジェルマヌス: 古い回転ディスク
Sander Germanus (NL): *Le tournedisque antique*

久木山直: 枝 (世界初演)
Naoshi Kukiya: *RAMO (World Premier)*

コンロン・ナンカロウ=ヘッケマ編:
自動ピアノのためのスタディーズから第2, 6, 15, 3c番
Conlon Nancarrow/Hekkema (USA/NL):
Studies for Player Piano, no 2, 6, 15, 3c

ヤーコブ・テル・フェルトハウス: ジーザス・イズ・カミング
Jacob Ter Veldhuis (NL): *Jesus is coming*

ホセ・マリア・サンチェス=ヴェルドウ: 装飾の本
José-María Sánchez-Verdú (ESP): *Libro de Glosas*

山本裕之: ブリジットの見たもの
Hiroyuki Yamamoto: *What Bridget Saw*

スティーヴ・ライヒ: ニューヨーク・カウンターポイント
Steve Reich (USA): *New York Counterpoint*

©演奏順未定。曲目は変更される場合があります。

<http://www.glovill.jp/>